

自分の体調管理をしっかりとしよう！

大寒にふさわしい寒波に見舞われた1月下旬でした。雪かきの大変さもある中で、降る雪の美しさも生徒たちと楽しんだところです。平素は聖母の小さな学校の教育に格別のご理解とご支援をいただき、深く感謝いたしております。

さて、3学期に入り、3月の広島平和学習（修学旅行）に向けた学びが始まりました。太平洋戦争までの歴史や戦争について、また核兵器とその恐ろしさについて、多くの事を学習し、現地で被爆された方の証言を聞く準備をします。その一つとして、1/12には映画「ラーゲリより愛を込めて」を鑑賞しました。また、翌日には、世界記憶遺産に登録された市の施設「引き揚げ記念館」で、シベリア抑留、引き揚げについて学びました。ガイドの方のお話に熱心に耳を傾けておりました。戦争の実態や、それがもたらすものについて、広く、深く学習をしてゆきます。けれども生徒の生活行動面では、聖母へなかなか行けないので、行けるように頑張っている、朝起きられるようにと努力している。家から外に出られるように、など「生活を整える」というプロセスを真剣に歩んでいるのが実情です。平和学習プログラムに十分取り組んでいます、とはなりません、この二つを生徒たちと家族の「今」というこの時にのせて、歩みを進めたいと思います。平和学習に1回でも出席することは、「生活を整える」プロセスに、活力を与えるでしょう。

そのためにも、一つ一つの学習で生徒が感じた事を大切にします。「感じる」事は、行動の元になるからです。生徒は「ラーゲリより愛を込めて」の感想に、「(終戦で)日本へ帰れるはずだったのに、帰ることができず、家族にも会えず、シベリアで死んでしまうのを見て、悲しくて、涙が止まらなかった」と言います。また1月17日には、第9回日展（京セラ美術館）を鑑賞しました。第1の目的は、陶芸を教わっている高井晴美先生の出展作品を鑑賞することでしたが、生徒たちは、西洋画、彫刻、陶芸、工芸など、日本の芸術家の優れた作品に見入っていました。1/17 「日展」見学



言葉では説明しにくいようでしたが、作品の持つ力に感じ入っている様子が見えました。

このような生徒の根本の心の動きは小さくても、全人的な成長の元になります。意欲だったり、興味・関心だったり、行動だったり、様々な事を動かす力になります。不登校という状態、即ち、自己から、また、学校という社会から、そして、家族や学校の先生など人から一旦遮断した状態だからこそ、自分の内側の声に耳を澄ますことができるとも言えます。そして、どの生徒にも根底には、社会とつながる、人とつながる望みがあります。生徒との面談を通して、それを少しずつ意識化してゆきたいと思います。また、保護者の面談も随時実施しております。申し出て下さい。また、保護者会は2月24日（金）午後7時～8時半です。お出かけください。

今月から、教員研修会を再開いたします。2月15日（水）午後7時～8時です。先生方お誘いあわせの上、お出かけください。今月もよろしく願います。

<今月の主な行事>

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 7日（火）ウズベキスタン文化学習 | 18日（土）親子料理教室 |
| 10日（金）・24日（金）理科（中岡先生） | 「ウズベキスタンの伝統料理 プロフを作ろう！」 |
| 13日（月）・27日（月）ギター教室（北浦先生） | 21日（火）特別授業「数学」（江宮先生） |
| 15日（水）教員研修会 | 22日（水）体育（渡邊先生） |
| 16日（木）華道教室 | |